

## 県立文書館・県立広島大学・県立図書館 「古典の日」連携事業実施!

(リポーター：日高 愛)

# 古典の日

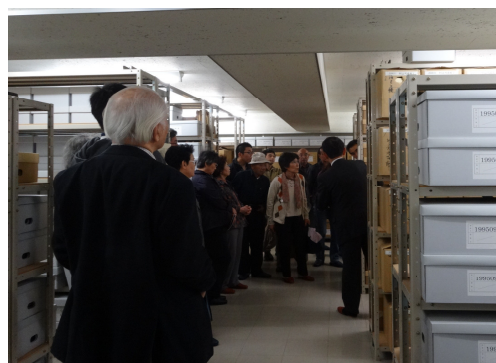
 11月1日「古典の日」に因み、広島県では今年から、当館と県立広島大学・県立図書館が連携して、公開講座や資料の展示を企画し実施しました!

「古文書学習への誘い」と題して開催した当館の公開講座では、古文書とは?ということから、身近にあるくずし字の紹介・読み方・学習方法などについて、写真や資料をたくさん用いながら古文書の世界へご案内しました。

参加者からは、「とても面白かった」、「本格的に勉強してみたい」という声をたくさん頂き、今回の講座が古文書学習への足がかりとなれたのではと思います。

また、展示室では「広島ゆかりの『古典籍』展～俳諧・狂歌と広島出版～」を開催しており、講座終了後の展示説明では、研究員の裏話に「ほ～」という声や質問も上がりました。

さらに、普段はなかなか入ることのない書庫の見学も開催し、職員の案内・説明のもと、たくさんの方が行政文書庫・古文書庫を興味深そうに探検されました。



県立広島大学・県立図書館の公開講座「ふたりの式部をめぐる」では、「紫式部」と「和泉式部」の二人の「式部」に焦点をあて、講師の方が読み解いたそれぞれのエピソードや時代背景を紹介しながら、二人の生きた時代に想いを寄せ、二人の姿にせまる講座となりました。また、それぞれ関連した資料展も開催しており、三者連携して、この「古典の日」を広げる取り組みを行っています。



古典や古文書に関してまだ私自身も初心者ですが、昔から今に辿り着いた書物に触れることの面白さや、そこにある時代と人間を知る楽しさを感じ、古文書の世界へと誘われていきました。今回の取り組みからさらに、これまで馴染みのない方にも新しい世界に触れて楽しんでいただけるよう取り組んでいきます。

当館は12月27日(金)まで、「広島ゆかりの『古典籍』展～俳諧・狂歌と広島出版～」を開催しておりますので、古典・古文書の世界へどうぞお越しください。